



I Peace, Inc. (アイ・ピース株式会社)

WEB: <https://ipeace.com/>

2026 年 7 月 23 日

I Peace, Inc.

**アイ・ピース、Japan-U.S. Innovation Awards の Innovation Showcase Company に選出
～日本を代表するイノベーション企業として日米をつなぐ～**

アイ・ピース株式会社 (I Peace, 本社：京都市、Founder & CEO:田邊剛士) は、このたび 2026 Japan-U.S. Innovation Awards の Innovation Showcase Company に選出されました。Japan-U.S. Innovation Awards は、北カリフォルニア・ジャパン・ソサエティとスタンフォード大学 U.S.-Asia Technology Management Center が共同で運営しており、日本と米国、特にシリコンバレーをつなぐイノベーション企業を顕彰し、後に続く企業にロールモデルを示すためのプログラムです。

Innovation Showcase は、世界に大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、日本発の革新的技術を有するスタートアップ企業を広く紹介するためのプログラムで、本年度は日本発の有望なテクノロジーを有する候補企業 50 社の中から 5 社が選ばれました。アイ・ピース (I Peace) は再生医療分野を代表する企業としての選出です。Innovation Awards のもう一つのカテゴリー、SunBridge-John Thomas Emerging Leaders は、革新的技術を持ちスタートアップから安定成長軌道に乗った日米の企業を顕彰するもので、本年度は米国から AI 研究開発企業 Anthropic、日本からは同じく AI 研究開発企業 SakanaAI が選出されました。これまでの Emerging Leader Award 受賞企業には、Tesla、iRobot、Dropbox、Zoom など、世界に大きな変革をもたらした企業も含まれています。

授賞式およびシンポジウムは、2026 年 7 月 16 日、スタンフォード大学の Frances C. Arrillaga Alumni Center で開催され、アイ・ピース (I Peace) の Founder & CEO 田邊剛士は登壇者の一人として、iPS 細胞を基盤とした再生医療、細胞治療、個別化医療、そしてロンジェビティの実現に向けたアイ・ピース (I Peace) の取り組みを紹介しました。

今回の受賞について、Founder & CEO の田邊剛士は次のように語っています。

「このたび、Japan-U.S. Innovation Awards の Innovation Showcase Company に選出していただき、大変光栄に思います。私自身、京都大学で iPS 細胞の樹立研究に携わったのち、スタンフォード大学で博士研究員として研究する機会をいただきました。スタンフォード大学で学んだことは、研究を通じて優れた科学成果を生み出すことだけではありません。技術を単なる技術で終わらせるのではなく、実際に人々を支え、社会を変革する存在へと発展させることの重要性です。私達アイ・ピース (I Peace) は、iPS 細胞技術を一部の研究機関が取り扱う特殊な技術で終わらせることなく、世界中の人々が利用できる身近な

医療基盤として定着させることを目指しています。そしてその先に目指していることは、病気を治す医療から、健康に生きる時間をより長くする治療への転換です。再生医療だけでなく、ロンジェビティの実現（健康寿命の延伸）に向けても iPS 細胞技術が果たす役割は大きく、私たちは iPS 細胞技術が次世代医療を支える重要な基盤技術となると信じ、日々研究開発に取り組んでいます。この度の Japan-U.S. Innovation Awards への選出を励みに再生医療の民主化と健康寿命の延伸に向けた取り組みを、世界規模でさらに加速してまいります。」

アイ・ピース (I Peace) について

「iPS 細胞技術を通じて一人一人の生涯の健康を守り、安心して幸せな生活を導く」をミッションに掲げ iPS 細胞技術の実用化を推進するアイ・ピース(I Peace)は、独自の自動化 cGMP 製造プラットフォームを通じ、高品質 iPS 細胞の販売・製造受託サービス、個人向け iPS 細胞バンキングサービス、そして iPS 細胞のロンジェビティ（健康寿命延長）への応用などの事業をグローバルに展開しています。京都大学山中伸弥教授の研究室出身で、世界で初めてヒト iPS 細胞の樹立成功を報告した論文の第二著者でもある田邊剛士によって 2015 年に立ち上げられました。iPS 細胞の開発当初から研究に従事してきた田邊は、アイ・ピース(I Peace)を通じ iPS 細胞を全ての人々の手に届くものとすることを目指し、日々革新的な技術開発に取り組んでいます。アイ・ピース(I Peace)独自の技術により、コンタミネーションの懸念なく複数のドナー由来の iPS 細胞を並行して製造することができ、多数の iPS 細胞を適切な価格で提供することが可能となりました。PMDA・FDA 基準に沿った高品質細胞製品として弊社の iPS 細胞その他細胞製品を製薬会社・細胞医療開発会社に利用していただくことを通じ創薬・細胞医療開発を支援し、また、世界中の一人一人が自分自身の iPS 細胞を持つことにより将来に備え、健康寿命増進を図ることができるよう個人向けの iPS 細胞製造・バンキングサービスならびにロンジェビティへの応用を進めています。再生医療、細胞医療、創薬、個別化医療に加え、ロンジェビティ分野においても iPS 細胞の活用が日常の一部となる日の早期実現を目指し、次世代医療インフラの構築を推進してまいります。

アイ・ピース株式会社

創始者・CEO：田邊剛士（Koji Tanabe）

本社所在地：京都市

親会社：I Peace, Inc. (Founder & CEO: Koji Tanabe)、

親会社所在地：米国カリフォルニア州パロアルト

iPS 細胞製造拠点（Peace Engine Kyoto）：京都市

ウェブサイト <https://www.ipeace.com>